

令和6年度 小学生による 「まちづくり」アイデアコンテスト発表会(報告)



長崎市教育委員会学校教育課

多くの方々にご協力いただき、11月9日(土)に長崎市役所において「令和6年度 小学生による『まちづくり』アイデアコンテスト発表会」を開催いたしました。9回目となる本年度の「小学生による『まちづくり』アイデアコンテスト発表会」では、長崎市内の小学校5・6年生から選ばれた優秀賞受賞者20名が、「未来の長崎のまちづくりの主役は自分たちである。」という思いのこもったまちづくりのアイデアを、長崎市長に向けてプレゼンテーションしました。



当日は長崎市長に加え、長崎市議会議員の皆様、元長崎市自治基本条例検討委員、長崎市PTA 連合会会長の皆様など、多くの方々にお越しいただきました。

20名の優秀賞受賞児童は、最初は緊張している様子でしたが、発表本番では練習の成果を十分に発揮し、魅力的なプレゼンテーションを披露することができ、大変素晴らしい発表会になりました。

【優秀賞受賞児童の感想より(抜粋)】

- ・ ぼくの大好きな長崎のまちをよくするために、実現したいことを市長さんの前で提案することができて、貴重な経験になりました。
- ・ 他の友達の提案も聞けて、長崎のまちを良くしていきたいという思いはみんな同じだと感じました。
- ・ 他の発表者の考えを聞いて面白いアイデアをたくさん知れてよかったです。自分の夢の実現に向けてこの経験を活かします。
- ・ 今回、鈴木市長さんに提案したことで自分の殻を破ることができたと思います。

【保護者の感想より(抜粋)】

- ・ 子ども達のアイデア溢れるプレゼン、とてもすばらしかったです。長崎市に住む私達ももっと長崎市のことをよく知り、発展させていかなければいけない。そして胸を張って「長崎出身」と言える誇れる町になってほしいです。
- ・ 長崎は子ども目線でも県外の人にアピールする資源が豊富であり、子ども達の郷土愛が強い街だということを今回改めて感じました。
- ・ 長崎や地域の問題・課題に目を向けて、自由で柔軟な発想・アイデアが出て良かったと思います。